

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)EXC相模原計画 新築工事	階数	地上15F
建設地	相模原市中央区相模原3丁目276-2	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	354 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年7月 予定	評価の実施日	2017年12月18日
敷地面積	2,183 m <sup>2</sup>	作成者	新日本建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	763 m <sup>2</sup>	確認日	2017年12月18日
延床面積	8,875 m <sup>2</sup>	確認者	新日本建設株式会社一級建築士事務所

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.0

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
住宅性能評価を取得し建物躯体耐久性の向上を目指し、環境に配慮した建材や材料を採用している。	特になし	
<b>Q1 室内環境</b> 遮音性能やF☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用している。また、専有部分において高い昼光率を確保し、室内環境の向上に努めている。	<b>Q2 サービス性能</b> 住宅性能評価における劣化対策等級3を取得し、躯体の耐久性向上に努めている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 中・高木、ビロティ等水平投影面積率56.26%とし、良好な景観を形成している。
<b>LR1 エネルギー</b> 一次エネルギー消費量を基準値の91%とし、省エネルギー性能の向上に努めている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 特になし	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率を参照値の74%とし、敷地外環境の向上に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される